

# 職能開発科だより

平成30年1月26日発行

校長 岩瀬 昌保

職能開発科主幹 安田 賢

関東地方も厳しい寒さが続いています。さて、特別号として1月24日（水）に実施した「保護者懇談会」について御報告いたします。保護者の皆様には御都合を合わせて御参加いただきありがとうございました。

## 『MINATO だからできること 皆と一緒にできること』の実践

1月24日（水）に1・2年生合同で保護者懇談会を実施いたしました。今回の趣旨は進路に関する**情報の共有**です。1年生は来週から現場実習が始まります。初めての实習ですので、生徒も保護者も不安があることと思います。そこで既に経験をされた2年生保護者と現場実習について情報交換をすることで、実習前にその不安を少しでも取り除けたらと考えました。



当日は『シーサイドカフェ』のオープンセレモニーとカフェの内覧会も行い、食品コースの生徒がドリップしたコーヒーとりんごケーキに舌鼓を打ちながら、会を進行いたしました。

この懇談会は初めての試みでしたが、保護者の皆様の御協力もあり、とても和やかな会となりました。懇談時に話題となった内容について少し紹介します。

### 『2年生保護者からのお話』

- ◆「職種や業務内容について本人と話し合い、本人の希望職種が向いているのか正直迷いましたが、本人の希望を尊重するようにしました。」
- ◆「実習では、本人と業務内容が合っているかを見るようにしていましたが、それと同じくらい**人的環境**（サポートスタッフ、店长、アルバイトの方々、既に働いている障害者スタッフ等）も大切であると感じました。」
- ◆「作業スキルを身に付けることは大切ですが、それ以上に**「時間を守る」「挨拶をする」「人と良い関係を築く」**などのいわゆる**社会生活を営む力**が大切であることが見えてきました。」

保護者からの言葉にはとても説得力があり、教員も進路に向けた保護者の気持ちを伺える貴重な機会となりました。会は5時まででしたが、少し時間を延長して最後まで大いに盛り上がりました。保護者から『現場実習後にも情報交換できますか』と嬉しいお話もいただきました。

### 『現場実習が終わったら』

現場実習後に**三者面談**を予定しております。現場実習を終えて気になる点がございましたら、面談時に担任、進路担当まで御相談ください。また、連絡帳に御記入いただいても結構です。職能開発科だよりにて回答いたします。

ネット上にこれだけ情報が氾濫していても、知的障害のある生徒に関する具体的な情報は、まだまだ少ないと感じています。懇談会を企画したことで、改めて保護者の皆様への情報発信と情報共有の場の必要性を感じました。本校職能開発科のテーマである『**港だからできること 皆と一緒にできること**』を実践し、今後も生徒の将来に向けて我々が共にできることを考えてまいります。今後とも御協力をお願いいたします。